



ハナミズキの元肥



Q. ハナミズキに元肥をやろうと思います。
施し方を教えてください。

A. 葉が落ちきってしまったら元肥を与えます。
適期は11月下旬～12月中旬、または2月中旬～3月下旬です。

《ポイント》

株が寒さで休眠している間に与える肥料なので寒肥とも言います。
有機質の肥料を冬に施すと少しずつ分解して、春の芽だしのころに
効果が現れ、芽が元気に育ち始めます。

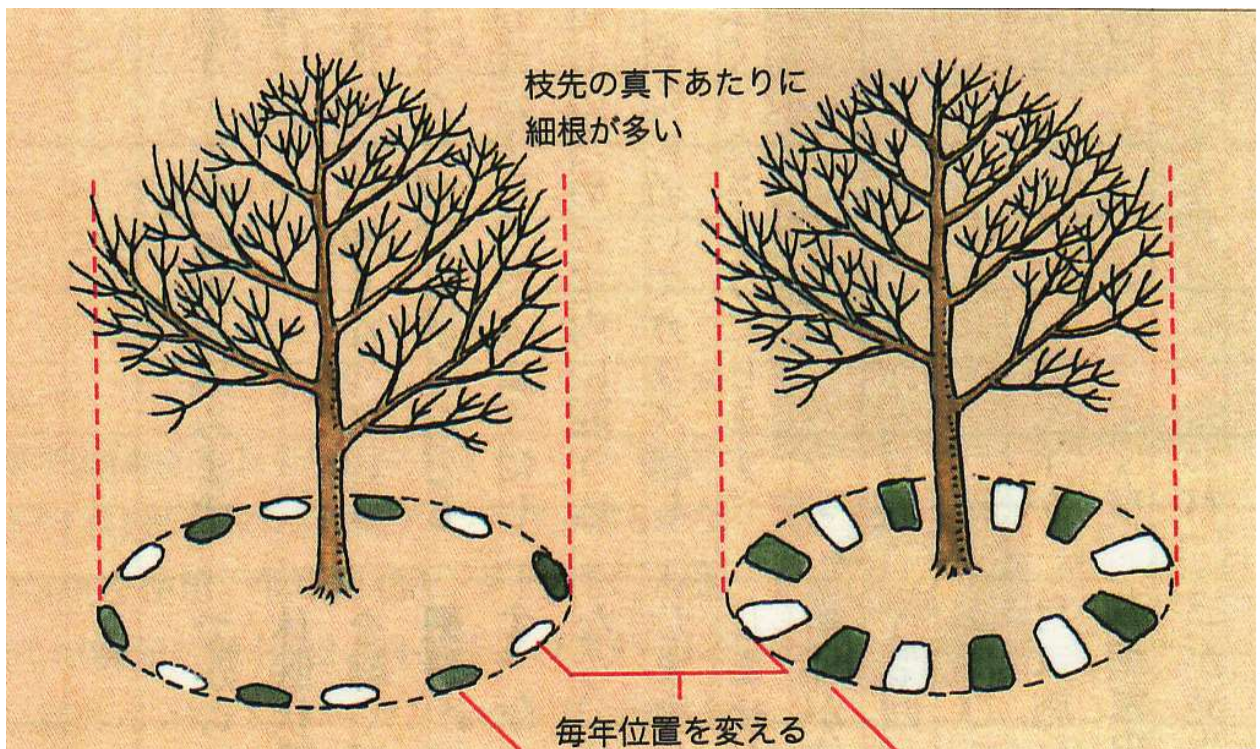
《施し方》

下図を参考にして油粕と牛糞、腐葉土などの有機質資材を主体に施します。

施肥量は庭の条件や木の成長の様子で違います。

高さ3mまでの木でしたらチッソ、リン酸、カリを含む油粕固形肥料 150～250gを
与えるのが目安です。

牛糞などは1㎡あたりバケツ1杯（10～15L）とします。





ユリ球根の植えつけ

11月の園芸相談

Q&A

Q. ユリの鉢植えはどうするのですか？

A. ユリは球根から伸びた茎の基部から養分を吸収する根(上根といいます)を出すので、球根を深く植えるところがチューリップと違います。

《ポイント》

11月中旬までに植えます。鉢植えの場合は、ゴロ土の上に球根1個分空けて球根を植えつけます。

＜準備するもの＞

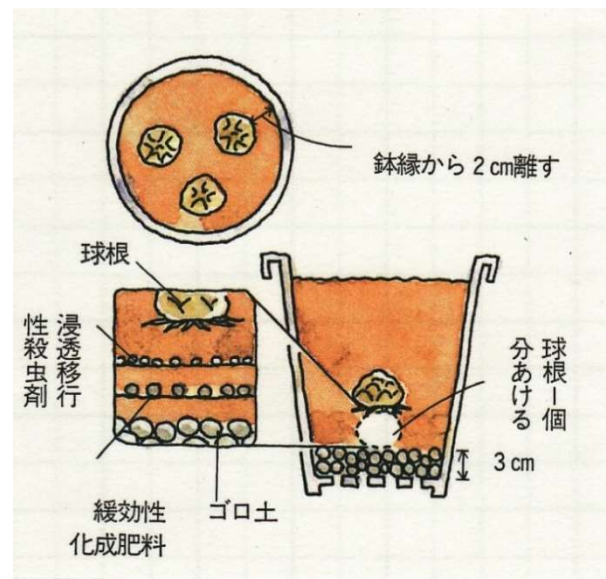
- ① 用土 赤玉土(小粒と中粒同量)：腐葉土=7：3の配合土。
- ② ゴロ土
- ③ 殺虫剤(オルトラン粒剤)
- ④ 緩効性化成肥料
- ⑤ 8号懸崖鉢
- ⑥ 球根 3球

＜球根消毒＞

ベノミル水和剤 1500倍液に30分間浸漬し、日陰で乾かす。

＜植えつけ手順＞

- ① 鉢底にゴロ土を入れる(3cm)。
- ② 配合土を入れる。土は軽く湿らせておく。
- ③ 緩効性化成肥料をばらまく。その上に少し土を入れて殺虫剤をまく。薄く土を入れる。
- ④ 球根を配置する。
- ⑤ 鉢縁の3cm下まで配合土を入れる。
(※植えつけ直後は水をやらない)





11月の園芸相談 Q&A

タマネギの植えつけ

Q. タマネギ栽培では苗の吟味が大切だと聞きました。どんな苗がよいのですか？

A. 大苗は冬の寒さに当ってトウ立ちするので、鉛筆より細めの苗を厳選して植えます。



《ポイント》

弱アルカリ性の水もちのよい土でよく育ち、日が長くなり気温が上昇すると球が肥大します。日光を好むので日当たりのよいところで育ててください。

1 良い苗と悪い苗

良い苗は長さが20~25cm、太さは鉛筆より細め(6~7mm)、葉が真直ぐに伸び、白い根が素直に出ているものです(図)。

苗を買うときは朝早く店に行き、朝取りの新鮮な苗を求めます。

2 プランター準備

古土でもかまわないので元肥に緩効性化成肥料を標準プランターに20g、苦土石灰を20gまんべんなく混ぜておきます。

3 定植

苗を買ったらその日のうちに2条で株間10~12cmに植えます。深植えすると春の育ちが悪くなるので2cmほどの浅植えにします。

4 肥料と水やり

水は毎日やります。肥料も定期的やり、3月中旬で止めます。4、5月は十分に水をやり球を太らせます。

